

# 元気いっぱいの1学期を終えて

本日をもって、71日間（1年生は70日）の1学期が終わりました。

この1学期も、新型コロナウイルス感染の影響を受けましたが、目指す学校像「学ぶ意欲にあふれ、心優しく、元気な子どもたちを 家庭・地域とともに育てる学校」～元気いっぱい 丹後っ子～のもと、子供たちは様々な取組に元気に頑張ってくれました。

3年ぶりの開催となった春の運動会では、『練習の成果を出し切って、失敗しても最後まであきらめずに挑戦しよう』のスローガンのもと、素晴らしい運動会にしようと児童会が中心となって全校が一つになって取組を進めることができました。徒競走、障害走、全員リレーでは、それぞれが自分の持てる全力を出し切り、また児童会種目の「台風の日」ではどのチームも上級生が下級生を上手に引っ張り、下級生は上級生の指示をしっかり聞いて素晴らしい取組になりました。

また、1学期の人権旬間では、各学級で授業について、また友達関係について実態を出し合い、課題解決に向けた学級の目標を決め、取り組むことができました。

6年生の修学旅行では、3年ぶりに予定通りの日程の1学期に、京都・大阪・奈良方面に行くことが出来ましたが、最上級生らしく、時間を守るなどの先を見通した行動や宇川小学校との楽しい交流も進むなど素晴らしい旅行にしてくれました。

このように新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、子どもたちはそれぞれが確かな成長を遂げ1学期の終業式を迎えることができ大変うれしく思っています。

また本日、児童の個別の学習・生活の評価を『通信簿』という形で家庭にお返ししました。ぜひ子どもたちの頑張ったところや良さなどを肯定的に評価していただければありがたいです。合わせて、成績等において疑問点やご意見がありましたら、担任や学校にお伝え下さい。

さあ、子どもたちが家庭・地域にもどっていく『夏休み』が始まります。

学校では学べないことを、家庭・地域で体験させて頂きますようお願い申し上げます。本来、子どもも誰かの役に立ちたいという思いを常に抱いています。家族の一員である子どもたちに、これまで以上に、お手伝いを通して家庭生活への積極的な参画者になってほしいという願いと期待を、そして家族のために働いてくれたことへの感謝の思いを伝えてはどうでしょうか。きっと子どもたちは、人のために働くことの良さを実感できることでしょう。あわせて、子どもたちの自己有用感や自己肯定感も高まってくることでしょう。安全で楽しく充実した夏休みとなり、2学期には一回り大きくなった子どもたちに会うことを楽しみにしています。

校長 室井 良夫